

事業別評価調書 (チェックリスト)

整理番号	1	事業名	渡利学習センター整備事業	単独	地区名 (事業箇所名)	福島市渡利字岩崎町 地内	担当部課名	教育委員会 生涯学習課																																								
評価を受ける理由	新規事業に着手するにあたり評価を受ける必要があるため																																															
根拠となる項目	要綱 第3条第2項 事業に係る予算を新たに措置し、又は事業に着手しようとする事業																																															
事業根拠法・要綱等の名称	地方自治法第244条第1項及び社会教育法第20条・福島市学習センター条例																																															
対応方針 (案)	新規着手																																															
総合計画上の位置づけ	第5章「次世代の環境」の住みよいまち 第7節 生涯を通じた学びの推進																																															
事業概要	〔事業目的及び全体計画〕 (1) 事業目的 渡利学習センターは、渡利地区と立子山地区という2つの地域の生涯学習・社会教育の拠点として昭和54年に建設され、それぞれの地域の特性を活かした事業運営により多くの住民が集い、学びを深めてきた。しかしながら、現在の施設は、多様化する住民の学習ニーズに応えられておらず、また、段差が多く二階にトイレがないことなど誰もが気軽に安心して利用できる施設となっていない。学習センター設置者として、公共施設の適切な管理・運営に向けた課題等を踏まえ、効果的・効率的な施設整備により、安全・安心な環境のもと、「絆づくりと活力あるコミュニティ形成」に向けた生涯学習・社会教育活動を推進するとともに、災害時に避難所として必要な機能を確保するため、現在地への改築による施設整備を行うものである。																																															
	(2) 全体計画 現在地は、渡利・立子山地区の住民を中心に長年親しまれてきた場所であり、用地購入等の費用を要しないため、現在の敷地を活用し新たな学習センター及び駐車場等の整備を行う。整備にあたっては、渡利地区体育館を解体し、学習センター多目的ホールに機能を統合する。工事については、学習センター利用者への影響を最小限にするともに、費用を抑えるため、仮設庁舎を設けず現施設を利用しながら行う。なお、利用者や工事関係者の動線を検討し、安全面に十分に配慮する。 ①学習センター整備概要 ㉟延床面積 1,450㎡程度 ㉠敷地面積 9,500㎡程度 ②整備スケジュール																																															
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>平成32年度</th> <th>平成33年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align:center;">検討委員会開催 (施設整備・運営等協議)</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>								平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	検討委員会開催 (施設整備・運営等協議)					●	→	●	→	●	●	→	●	→	●	●	→	●	→	●	●	→	●	→	●	●	→	●	→	●	●	→	●	→	●
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度																																											
検討委員会開催 (施設整備・運営等協議)																																																
●	→	●	→	●																																												
●	→	●	→	●																																												
●	→	●	→	●																																												
●	→	●	→	●																																												
●	→	●	→	●																																												
●	→	●	→	●																																												
(3) 関連事業の状況 特になし。																																																
事業採択予定年度		平成29年度		完成目標年度	平成33年度																																											
計画事業費 (うち用地費)		財源別内訳又は負担割合		主要事業種目別積算内訳																																												
874百万円 ( 0 )		市 268百万円 起債 606百万円		委託費等 66百万円 (測量・基本及び実施設計・ボーリング調査)  整備事業工事費 808百万円 (建築本体工事、杭工事、電気設備工事、造成工事、解体工事等)																																												
事業の概況																																																
〔事業に関する社会経済情勢等〕 (特記すべき事項) (1) 事業に関連する項目 ①急激な社会構造の変化と生涯学習の重要性 都市化や過疎化の進行、核家族化に伴い、社会のつながりが希薄化している。一方、経済や文化のグローバル化、雇用環境の変化に伴う社会構造の変化等、市民を取り巻く環境が複雑さを増している。こうした中、市民一人ひとりが、いきいきと生きがいを持って生きていくために、学習を通して課題を解決し、その学びの成果を地域社会に還元していく取り組みが求められており、生涯学習の重要性が高まっている。 ②東日本大震災の発生を契機とした住民意識の変化 東日本大震災以降、「つながる」ことの重要性和安全・安心に対する意識の高まりにより、地域の交流拠点と渡利地区における避難所施設として、学習センターの重要性が高まっている。 ③公共施設のあり方をめぐる課題 厳しい財政状況の中、施設の老朽化に対する適切な維持管理、更新等が大きな行政課題となっており、市民の学習意欲に対応した効果的・効率的な施設の配置が求められている。																																																
(2) 地元住民・受益対象者の意向 ①渡利地区自治振興協議会 平成13年度、22年度～23年度、25年度～26年度、28年度の数次にわたり、渡利学習センターの早期整備促進を要望。 ②渡利学習センターあり方懇談会 平成25年6月、地元関係者が中心となり設立。平成26年4月、市に提案書を提出。 (提案内容) ㉡利用者及び地区の意見を取り入れた新しい学習センター整備 ㉢花見山の通年観光の拠点となるような施設整備 ㉣防災の拠点としての施設整備 ㉤渡利地区体育館との一体的整備等 ③渡利学習センター施設整備検討委員会 (事務局：教育委員会生涯学習課) 平成28年8月、渡利・立子山地区の関係機関代表者により設置。平成28年8月から平成29年11月までに7回の委員会を開催し、整備計画の概要等について検討を行っている。 (主な意見) ㉦多様な学習ニーズに対応できる施設 ㉧防災拠点としての整備 ㉨エレベーター等を設置した誰でも気軽に利用できる施設 ㉩多目的ホールの設置 ㉪駐車場の拡張																																																
(3) 関係機関・団体の意向 (2)に同じ。																																																
〔事業に関連する評価指標等〕 (1) 主要な評価指標 目標値については、渡利地区体育館の利用実績及び直近に整備された松川学習センターの利用状況等を考慮して算出した。																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成28年度 実績 (整備前)</th> <th rowspan="2">平成32年度 目標 (整備後)</th> <th rowspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>学習センター</th> <th>体育館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①利用団体登録数</td> <td>39</td> <td>42</td> <td>98</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>②利用者数</td> <td>24,829</td> <td>18,162</td> <td>54,164</td> <td>29,335</td> </tr> </tbody> </table>									平成28年度 実績 (整備前)		平成32年度 目標 (整備後)	増減	学習センター	体育館	①利用団体登録数	39	42	98	59	②利用者数	24,829	18,162	54,164	29,335																								
	平成28年度 実績 (整備前)		平成32年度 目標 (整備後)	増減																																												
	学習センター	体育館																																														
①利用団体登録数	39	42	98	59																																												
②利用者数	24,829	18,162	54,164	29,335																																												
○参考：松川学習センター整備による利用状況の変化 (平成27年2月2日建設) ※多目的ホール新設																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>平成26年度 実績 (整備前)</th> <th>平成27年度 実績 (整備後)</th> <th rowspan="2">増減</th> <th rowspan="2">伸び率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①利用団体登録数</td> <td>58</td> <td>84</td> <td>26</td> <td>1.45</td> </tr> <tr> <td>②利用者数 (多目的を除く)</td> <td>54,135</td> <td>78,227</td> <td>24,092</td> <td>1.45</td> </tr> </tbody> </table>									平成26年度 実績 (整備前)	平成27年度 実績 (整備後)	増減	伸び率	①利用団体登録数	58	84	26	1.45	②利用者数 (多目的を除く)	54,135	78,227	24,092	1.45																										
	平成26年度 実績 (整備前)	平成27年度 実績 (整備後)	増減	伸び率																																												
	①利用団体登録数	58			84	26	1.45																																									
②利用者数 (多目的を除く)	54,135	78,227	24,092	1.45																																												
(2) その他特記すべき事項 特になし																																																

## 事業別評価調書 (チェックリスト)

3	費用対効果分析等	<p><b>【費用対効果分析等】</b></p> <p>(1) 事業実施によってもたらされる効果、利益等</p> <p>①生涯学習・社会教育活動の活性化と地域コミュニティの維持・強化 エレベーターの設置、段差の解消等、誰もが安全に快適に利用できる施設整備により、利用者の満足度が向上する。 また、体育館とホールの機能を統合した多目的ホールの設置により、スポーツ利用のほか、多くの市民が一堂に会する催しの開催が可能となり、幅広い年齢層の利用拡大が見込まれる。 学習成果を発表する場が確保されることで、学ぶ意欲の向上と、住民相互の交流が活性化し、地域コミュニティの維持・強化につながる。</p> <p>②地域防災力の向上 耐震性に優れた構造と、太陽光発電や蓄電池等の設置により、指定避難所としての機能が拡充される。また、学習センターを拠点とした防災講話や地域防災訓練など、地域の自主防災組織が取り組む活動の場として充実が図られることから、地域防災力の向上につながる。</p> <p>(2) 事業実施にかかるコスト (概算)</p> <p>①全体事業費 874百万円 ②年間維持管理費 5百万円 (光熱水費・委託等) ※同規模の学習センター維持管理費をもとに算出 ③想定される人件費 24百万円 ※現在の渡利学習センター職員配置をもとに算出</p> <p>(3) その他特記すべき事項 渡利学習センター敷地は、花見山観光客の駐車場にも利用され、休憩等で学習センターに訪れる観光客も多いことから、満足度の向上につながる。 また、エントランスホールを活用して、福島市を代表する観光資源である花見山や地域の伝承や史跡、特産物などの地域の魅力を内外に発信することができる。 こうした取り組みを住民自らが日頃の学習の成果を活かして情報発信を行うことで、郷土への理解と愛着が深まり、地域の個性を活かしたまちづくりの推進が図られ、地域が活性化する。</p> <p>(4) 上記(1)～(3)を踏まえた分析 学習センター整備により、生涯学習・社会教育活動と住民相互の交流が活性化され、地域コミュニティの維持・強化が図られるだけでなく、地域防災力の向上につながることから、事業実施にかかる費用に対し、十分に効果があるものとする。</p>	5	国・県・市・民間との役割分担	<p><b>【市が事業実施主体となるべき理由・必要性】</b></p> <p>社会教育法21条において、「公民館は市町村が設置する。」とされている。 また、本市においては、「福島市学習センター条例」を制定し、社会教育法に定める公民館事業に加えて生涯学習を支援する施設として、「公民館」の利用対象者の範囲をさらに拡大し、より多くの住民が学習センターを通じて交流を深めることで、より良い学習機会の提供のみに限らず、絆づくりと活力あるコミュニティ形成に向けた活動も推進している。 こうした経過を踏まえ、新しく整備する学習センターにおいても、市が主体となって事業を実施する。</p> <p><b>【その他特記すべき事項】</b> 特になし</p>											
			6	市民の参画	<p><b>【渡利学習センター整備検討委員会】</b></p> <p>・地区の各団体の代表者から構成される「渡利学習センター施設整備検討委員会」による整備計画への参画 (委員構成) 地区自治振興協議会、地区町会連合会、学習センター運営審議会、利用団体連絡協議会、地区体育協会、少年育成会、地区老人クラブ連合会 (ほか)</p> <p>・整備検討委員会の開催 7回 (平成29年11月現在) (開催状況) 平成28年 8月 設立 総会 (第1回委員会) 9月 平成28年度 第2回委員会 10月 " 第3回委員会、第4回委員会 平成29年 5月 平成29年度 第1回委員会 10月 " 第2回委員会 11月 " 第3回委員会</p>											
			7	総合評価	<p><b>【総合評価と今後の事業の進め方】</b></p> <p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公共施設の適切な管理・運営に向けた課題等を踏まえ、渡利学習センターと渡利地区体育館の複合化を進めることで、体育館機能とホールを備えた多目的ホールの設置等、効果的・効率的に施設整備を図ることができる。さらに、誰もが安全に快適に利用できる施設整備により、生涯学習活動と住民相互の交流が活性化され、地域コミュニティの維持・強化に大きく資することができる事業である。 さらには、地域の歴史や観光資源について学んだ成果を活かして情報発信することにより、地域の活性化にも貢献できるほか、避難所としての機能強化と、自主防災組織の活動の場としても充実が図られ、地域防災力の向上につながることから、新規着手としたい。</p> </div> <p>(2) 今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応方針 (案) 【再掲】</th> <th style="width: 80%;">新規着手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">今後の事業の進め方</td> <td>平成29年度 平成30年度</td> <td>建物基本設計、用地測量、地質調査、敷地造成測量設計 建物実施設計、地区体育館解体工事、敷地造成工事 (～平成31年度まで)</td> </tr> <tr> <td>平成31年度 平成32年度</td> <td>建築本体工事 (～平成32年度まで) 新館供用開始 現施設解体工事 外構工事 (～平成33年度まで)</td> </tr> <tr> <td>平成33年度</td> <td>全面供用開始</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※工事については現施設を利用しながら行うため、安全面に十分配慮しながら行う。</td> </tr> </tbody> </table>	対応方針 (案) 【再掲】	新規着手	今後の事業の進め方	平成29年度 平成30年度	建物基本設計、用地測量、地質調査、敷地造成測量設計 建物実施設計、地区体育館解体工事、敷地造成工事 (～平成31年度まで)	平成31年度 平成32年度	建築本体工事 (～平成32年度まで) 新館供用開始 現施設解体工事 外構工事 (～平成33年度まで)	平成33年度	全面供用開始	※工事については現施設を利用しながら行うため、安全面に十分配慮しながら行う。	
対応方針 (案) 【再掲】	新規着手															
今後の事業の進め方	平成29年度 平成30年度	建物基本設計、用地測量、地質調査、敷地造成測量設計 建物実施設計、地区体育館解体工事、敷地造成工事 (～平成31年度まで)														
	平成31年度 平成32年度	建築本体工事 (～平成32年度まで) 新館供用開始 現施設解体工事 外構工事 (～平成33年度まで)														
	平成33年度	全面供用開始														
	※工事については現施設を利用しながら行うため、安全面に十分配慮しながら行う。															
4	コスト削減等の可能性	<p><b>【コスト削減等に向けた取り組み】</b></p> <p>(1) コスト削減等の取り組み</p> <p>①ランニングコストやライフサイクルコストの削減を図るための設備導入や資材を選定する。 ・省エネルギーに配慮した設備機器の導入 (LED灯・太陽光発電システムなど) ・耐久性のある資材の採用や、設備更新に配慮した設計</p> <p>②渡利地区体育館を廃止し、学習センター多目的ホールにその機能を統合することにより、維持管理を一元化し、コストを削減する。</p> <p>③現在の敷地を活用して効率的に整備することにより、仮設庁舎の設置や用地購入にかかる費用を節約する。</p> <p>(2) 官民連携の取り組み 渡利学習センターについては、これまでも利用団体が協力して定期的に館内の清掃を行ってきたが、施設整備後も引き続き取り組みを続けることで、清掃業務等委託費の低減が図れるよう協議を行う。</p> <p>(3) その他特記すべき事項 特になし</p>														